



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：新革命ガード総司令官の発言

(9月4日付現地各紙)

1. 革命ガードの地位・役割

- (1) 革命ガードは、優れた情報活動能力とミサイル戦力という二つの特色を持ち、予想される如何なる侵略にも対抗する準備が整っている。しかし、我々は全ての分野で能力向上に努力する必要がある。革命ガードは、あらゆる事態に対応可能な柔軟性を持った、活発で強力な組織であるべきである。
- (2) 革命ガードの任務は、脅威に対処し、文化侵略と戦い、保全・諜報に任ずる。国軍の主要な役割は、外部からの侵略に対し国家領域を保全することであるが、イスラム革命後の決定により、革命ガードは、体制及び革命への如何なる脅威にも立ち向かう使命が与えられている。イスラム革命が脅かされる時に、その脅威に対抗するのは革命ガードの役割である。革命ガードは、国軍最高指揮官（注：最高指導者）が自由に運用出来る予備であり、最高指揮官が必要と認めれば治安維持のために他の軍隊と協力することもある。革命ガードは、国民と協力しつつ輝かしい未来に向けて急速な進歩を遂げており、敵の脅威に対しては難攻不落の砦として立ちはだかるであろう。

2. 革命ガードの戦略

（革命ガードの戦略は正規戦から不正規戦に重点がシフトしたのかとの記者の質問に対し）不正規戦は古来からの戦法であり、我々是对イラク戦争でもこの分野で貴重な経験を得た。当時、革命ガードの軍事部門も拡大してはいたが、空軍及び技術力で優越する敵に対し、（イスラエル・ヒズボラ紛争を例に挙げつつ）我々は不正規戦の戦略を取らざるを得なかった。将来においても、革命ガードは脅威の態様、敵の能力に適応していくし、現代の軍事技術に応じた特定の戦略を選択するであろう。

3. 地域情勢

外国の占領者たちは早々にこの地域から立ち去るべきであり、それが彼らにとっても利益となる。この地域のムスリムは、外国人の存在を容認できないのであるから、敵たちはこの地域から一掃され、その影響力は遠ざけられなければならない。革命ガードは、地域の人々の側にあり、祖国復興、国家統合の実現、そしてイスラムの団結のために協力を惜しまない。

4. 人事交替の背景

一定の年数を勤めた指揮官の交替は、軍高官人事で通常のことである。（前革命ガード司令官就任以来）10年が経過した後、革命ガードには運営面での大規模な見直しが必要となっていた。革命ガード総司令官の交替は、敵の脅威又は革命ガードを敵視する彼らの発言とは関係なく行われたものである。